

## 行事予定

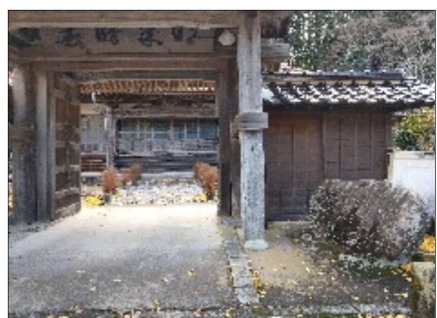
- 【菊舎顕彰会総会】  
期日 五月七日(日) 十三時三十分より  
会場 下関市豊北町・田耕促進センター
- 【句と絵が響きあう菊舎展】 俳画・水彩画展示他  
期日 六月九日(金) ～六月十九日(月)  
会場 長府庭園
- 【菊舎顕彰俳句大会】 十月十五日(日) 十三時より(詳細は後日)
- 【田上菊舎生誕二七〇年記念企画展】 菊舎顕彰会所蔵作品の数々  
期日 令和五年九月五日(火) ～十一月五日(日)  
会場 下関市立豊北歴史民俗資料館 二階講堂  
主催 菊舎顕彰会

## 伝言板

- 豊北歴史民俗資料館では菊舎顕彰会による企画展に併せて、資料館の主催による常設展を開催いたします。期間は令和五年四月二十五日～令和六年三月二十四日までの期間を「田上菊舎く歩神も一歩から」をテーマに五回に分けて開催します。会場は一階展示室です。
- 菊舎顕彰会では菊舎生誕二七〇年記念事業の一環として『菊舎年譜集成』と『菊舎和歌集』の刊行を予定しています。また菊舎著の『手折菊』復刻版を有効活用して頂ける方に無償で提供もいたしております。詳細は菊舎顕彰会ホームページをご覧ください。



「菊舎ってすごい」



正現寺(山門)



正現寺(菊舎句碑)



真長田地区のメタセコイア

### 【編集後記】

まだまだコロナ禍とはいえ、世の中はかなり開放的になってきました。季節は丁度春うらら。暖かな陽射しを浴びて顕彰会も新たな旅立ちとなります。「月を笠に遊ばずや旅のそら」と菊舎が詠んだように、私たちが新たな旅を遊び楽しむようではありませんか。この四年間編集をさせて頂きありがとうございました。(清昭)

## 菊舎顕彰会会報

第23号  
令和5年3月  
発行  
菊舎顕彰会

〒759-5512  
下関市豊北町田耕  
電話083-782-1475  
FAX 083-782-1475  
e-mail  
info@kikusha.com

どの道へけふは行ふぞ日永時  
田上菊舎

(あいさつ)

古川 裕三

会長退任のご挨拶

磯部 多恵子

先日行われた菊舎顕彰会理事会において、次期会長候補として推薦を受けました古川 裕三と申します。豊北町田耕の出身で、大学進学を機に故郷を離れ、以降は京都で過ごしまいりましたが、四年前に豊北町にUターンしました。こちらでは田耕俳句会に参加し、菊舎顕彰会の理事の末席に加わり、顕彰会のホームページ更新や俳句相撲大会の行司役など微力ながらお手伝いをしてまいりました。若輩者ではございますが、会長の交代を機に若返りを図ったほうがよいのでは、という理事の皆様のご意見を受けまして、この大任を引き受けさせていただきます。

コロナ禍の中、二〇数年は顕彰会の活動も思うようにできませんでしたが、そんな中でも田上菊舎のことを後世に伝えるべく、できる限りの活動が続けて来られた磯部多恵子会長のバトンをしっかり受け取り、次の世代に渡すことができるよう、精進してまいります。今年が菊舎生誕二百七十年を迎え、太翔館での菊舎展など、顕彰会でもさまざまな企画を予定しております。新しい体制のもとで至らぬ点も多々あるかと思いますが、どうか皆様のお力添えをいただき、この二百七十年の記念の年を盛り上げていきたいと思っております。最後になりましたが、二期四年の、その多くの期間をコロナ禍の難しい時節に会を率いてくださった磯部多恵子会長と、その会長を支えてくださった理事並びに会員の皆様に感謝の意をお伝えしたいと思います。本当にありがとうございます。今後とも菊舎顕彰会に對しましてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この度、私は一身上の都合により会長を退任することとなりました。会員の皆様方には四年間お力添えいただき、心よりお礼申しあげます。未熟な点や至らぬ点が多々あったと思いますが、支えてくださった理事の方々や会員の皆様のお蔭で新会長へバトンをつなぐことができました。新会長の古川裕三氏は元副会長古川哲郎氏の御子息で、顕彰会のホームページなどを担当し、IT関係にも強くこれからの時代のステージにふさわしい方です。

今では菊舎のファンは海外にも多くいらつしやいます。菊舎の前向きな意欲と自由闊達な気風は、海外の人達をも魅了しています。菊舎を通して国を超え世代を超えて繋がったご縁は、これからも大きく広がっていくでしょう。四年前、アメリカから菊舎の生誕地田耕にレベッカさんという女性が訪ねていらつしやいました。その方は、菊舎が生まれた地に立ち空気を吸うことができ幸せだと目を輝かせておっしゃいました。このように海外の人々でさえ魅了する先人の残した貴重な文化が、この先も受け継がれていくことを願ってやみません。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝を心から祈念申し上げ、感謝とお礼のご挨拶とさせていただきます。そして新しい会長の古川裕三氏に対しても今まで同様にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



令和3年度菊舎顕彰会収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入の部 単位：円

項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	176,471	176,471	0	
会費	500,000	438,000	▲62,000	221人・438口
事業収入	40,000	43,660	3,660	菊舎慕情・図録他
貯金利息	2	2	0	
助成金	20,000	370,000	350,000	田耕振興協議会 20,000円 下関市市民活動支援補助金350,000円
雑収入	3,527	15,000	11,473	寄付
合計	740,000	1,043,133	303,133	

支出の部

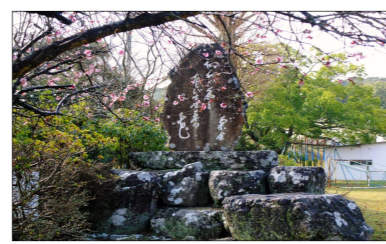
項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	20,000	14,247	▲5,753	理事会他
事業費	500,000	775,951	275,951	『菊舎のおはなし』制作費他
研修費	25,000	0	▲25,000	
研究費	20,000	35,000	15,000	本制作資料他
事務通信費	150,000	108,978	▲41,022	送料・印刷・事務用品他
交際費	20,000	10,000	▲10,000	本出版祝い
雑費	5,000	3,000	▲2,000	文化協会費
次年度繰越	0	95,957	95,957	
合計	740,000	1,043,133	303,133	

令和4年度活動報告

- 4月1日 会計監査（会長宅）
- 4月2日 理事会（田耕促進センター）
- 5月4日 菊舎顕彰会総会（田耕促進センター）
- 5月13日～22日 菊舎企画展（長府庭園）
- 7月14日 豊北文化祭話し合い（豊北生涯学習センター）林 若代理事 出席
- 10月1日 理事会（田耕促進センター）
- 10月16日 菊舎顕彰俳句大会（田耕促進センター）
- 11月14日 俳句授業（豊北小学校）内田 恒生理事他
- 11月20日 田耕ふれあい祭り参加（田耕促進センター）俳句コーナー
- 1月20日 新春俳句相撲大会（太翔館）豊北小学校5年生出場
- 2月12日 理事会（田耕促進センター）
- 3月25日 理事会（田耕促進センター）



豊北道の駅投句コーナー



菊舎句碑（旧田耕小学校）



新春俳句相撲大会

「菊舎ってすごい！」

榎原ゆうあい会 事務局長 柴田 俊彦

野菜づくりがしたいという妻の後押しで定年後は故郷でくらすことにした。終の住み処で心豊かにすごすこと、U・Iターンが増えて欲しいという願いで榎原ゆうあい会を立ち上げた。同じ志を持った志縁に恵まれ花のまちづくりと地域の宝を学ぶ・学びの郷づくりを十五年続けてきた。新たな知識と多くの出会いに感動を覚えた。

地域の宝には自然や史蹟、歴史上の人物もある。倒木で塞がれていた山道が、大内氏が大陸貿易のために拓いた肥中街道であった。母の菩提寺として榎原に妙栄寺を建立した陶弘詮（一五二三年）は、筑前の守護代を勤め、吾妻鏡を書写するなど文武両道、孝行の人。まさに多刀流であった。多刀流といえば田上菊舎も我が故郷と深い縁のあることを還暦後に先達から学んだ。

地域の宝を大人は勿論、子どもも知り、学ぶ必要がある、たとえ記憶の彼方に霞んでも。昨秋、子ども教室で三十二人の児童が「菊舎のおはなし」（菊舎顕彰会編）を読み合った。読後の感想ノートに、むずかしくなかった おもしろかった 菊舎のことを初めて知った 菊舎ってすごい 菊舎のことをもっと知りたいという声があった。子どもたちは知る喜びを覚え、新たな世界を見たいと願っている。

弘詮没後五百年、菊舎生誕二百七十年の今を契機に学びの郷をさらに深化させ、子どもたちがより多くの宝を知り、理解できるよう手助けしたいと思う。

（四ページに写真）



「正現寺の句碑」

顕彰会会員 眞鍋 聡

一昨年（令和三年）の十一月でした。顕彰会の岡顧問から頂いたメールの中に「美東町の正現寺には徳応寺と同じ句の句碑があると聞いています・・・」という語句があり驚きました。私の知る限り菊舎の句碑は下関市内に十一基、長門市に一基、京都府に二基の計十四基でしたが、美東町のもは初耳でした。早速、翌十二月に現地を訪ねてみました。

正現寺さんは真宗の寺には珍しい塔がある由緒のある寺でした。境内に目指す句碑を探してみましたが見当たりません。そのうち山門の右脇に腰掛け石のような大きな石に何か字が彫つてあるのに気づき、これが探していた句碑だとやっと判りました。彫りが浅くて全ては読み取れませんでした。確かに「雲と花の父母なり春の雨」の句が書体も徳応寺の句碑とよく似た文字で彫られていました。

後日、ご住職に句碑建立の経緯を電話でお尋ねしたら、この句碑を建立されたのは現住職の祖父であられる山本紅葉師（明治三十九年生れ）で、長府の徳応寺さんと親戚関係にあることと、ご自身が豊北町の寺からご養子に入られているご縁などから昭和五十一年に建てられたものだそうです。

知られざる？句碑の発見に嬉しくなりましたが、惜しいことには一見これが句碑だとわからないことです。簡単な説明板でもあればせつかくの句碑が活きるのですが・・・

なお、正現寺さんには市指定文化財の釈迦如来像や同じく文化財のイヌマキの木などもあります。また、近くの真長田地区にはメタセコイアの並木もあり秋には見事な紅葉も楽しめます。一度是非いらして下さい。

（四ページに写真）